

「富士の裾野」

本校の校歌に「われらが理想と そびゆる富士の」という歌詞があります。富士山は裾野が広いから山頂が高いのです。若い時代の学習や経験は無駄になることはありません。すべてがみなさんのこれからの人生の土台となります。

アメリカの名門大学、マサチューセッツ工科大学、ハーバード大学などでは、最先端の科学や専門的な学問より、まず先にリベラルアーツと呼ばれる幅広い分野の基礎的な教養をしっかりと身に付けたあと、専門分野に進む仕組みになっています。また、時代の最先端に行く日本の金融・商社などのグローバル企業でも、すぐ役に立つことはすぐ役に立たなくなるとして、いつの時代にも通用する教養を身に付けるため、西洋・東洋の古典を教材としたセミナーを取り入れています。

目の前の目標である大学受験を乗り切るためには、受験に必要な学習に専念した方が効率がよいかもしれませんが、その後の長い人生における学びや仕事においては、様々な分野の幅広い教養が必要になります。多くの科目を学ぶのは少しエネルギーがいりますが、こうした広い学びの中から、大学受験の先の夢や目標が見つかるのです。科目を絞る、選ぶということは、裏を返せばそのほかの大切な科目を捨てる、あきらめるということになり、自分の可能性を狭めることになります。

また、学習だけでなく、部活動や学校行事での努力や成果、悩んだこと、苦労したこと、失敗したこと、すべてがこれからの人生の土台となり、裾野となります。裾野が広がれば広がるほど、山頂は高くなります。みなさんにとっての山頂は何でしょうか。大学受験はあくまでも通過点です。その先の夢や目標をぜひ見つけて、それに向かって努力してください。

これからどのような時代になり、どのような力が必要になるかわからないからこそ、若いうちに様々な教科の学習で教養を身に付けるとともに、部活動や学校行事、学校外の活動などで様々な体験を積み重ねることが大切です。

大学受験のさらに先にある夢や目標、すなわち高い「山頂」を目指して、人生の「裾野」を広げ、困難に直面しても、あきらめず妥協せず努力し続けてほしいと思います。